

組合そくほう

全大教ホームページ <http://www.zendaikyo.or.jp/>
信州大学教職員組合
URL <http://www7a.biglobe.ne.jp/~akarenga/>

信州大学教職員組合事務局
直通電話：0263-33-0933(FAX 兼用)
内線：811-2341
akarenga@kbf.biglobe.ne.jp
通算 825 号 2016 年 1 月 8 日発行

新年のご挨拶

第 55 期 信州大学教職員組合 中央執行委員長
繊維学系 姫野修廣

新年あけましておめでとうございます。昨年は、組合活動にご協力いただきありがとうございました。今期の任期も残り数ヶ月となりましたが、執行部一同引き続き全力を尽くしていきたいと考えておりますので、今年もよろしく願いいたします。

さて年頭に当たり、昨年来、組合活動を通して心に残ったいくつかの点についてまとめてみたいと思います。

1. 無期雇用転換

これについては昨年度の団体交渉で妥結したもので、全大教の定期大会でも大きな成果と報告されており、大学当局の英断を評価してよいのではないかと個人的には思っています。

ただ実際の内容は、本部からは実施に当たっての費用はいっさい処置されず、各部局で対応せよということのようです。したがって、各部局の事務責任者は大変な様子でした。

2. インセンティブ付与制度

これについては「そくほう 821 号」で報告したように、今年度団体交渉の大きな成果です。「55 才以上の昇給停止」に伴う措置について数年来懸案となっていたものですが、昨年 9 月で大学側執行部が交代することもあり、急遽妥結案が示されました。内容についてはいろいろご意見があるでしょうが、無回答でなかったことは評価できると思います。

3. 単年度契約

以上、大学側はそれなりに教職員に対して配慮の姿勢があると感じていたのですが、新年 1 月 4 日に突然暗い話題が舞い込んできました。大学付属機関の統廃合の一環として上田キャンパスにある SVBL が解体されるらしく、単年度雇用されていた研究員 4 人が突然来年度以後の雇用はないと通告され、職場代表の私に相談に来ました。新年早々この時期に突然解雇を通告されても、4 月以降の就職の当てもありません。途方に暮れている様子でした。

大学側の統廃合の事情は理解できなくもありませんが、単年度契約の恐ろしさを思い知った気持でした。

以上、信州大学は比較的教職員への配慮があるように感じていましたが、労働者としての立場は油断なく守る必要があります。上記 4 人については、できる範囲で援助の努力をしたいと考えていますが、組合員の皆様にも、引き続きご理解とご支援をお願いいたします。

